



## 地域公開保育、第三者委員さんのお一日園長

について（お知らせ）

下記の日程で地域公開保育を開催して、地域の皆様に保育園の子ども達の様子を参観や情報交換会をしながら保育について語り合い、地域の中の保育園の役割について再確認したいと思っております。

なお、この日は坂みみょう保育園の第三者委員さんの小迫清志様や見藤洋子様にもお越しいただいて、「一日園長」としてご指導もいただく予定にしております。

祖父母の皆様、近隣の皆様にお声かけをよろしくお願い致します。

日時：11月9日（木）

保育の参観・午前9時45分～10時45分

未入園の乳幼児と保護者の皆様は、園庭で遊ぶことができます。

情報交換会・午前11時～11時30分

映像で子ども達の発達の様子もご紹介いたします。令和6年度の入園希望などのご質問にもお応えいたします。

場所：坂みみょう保育園

※駐車場は10台分、自転車・バイクなどの駐輪場もあります。

対象：未入園の乳幼児と保護者

（在園児の保護者の方で、未入園の子どもさんがおられる場合は、是非ご来園ください。）

園児の祖父母、地域の皆様、



# 令和5年 11月の保育園だより



坂みみょう保育園

## 『あそび心と主体性』

～アートな生活とあそび展を終えて～

野山の色づきを感じる頃となりました。食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋・・・秋の深まりには魅力的なことがたくさんありそうです。

先月末に開催した『アートな生活とあそび展～みる・かく・つくるをあそぶこと～』では、さくらんぼ会役員の皆様や保護者の皆様のご協力の下、子ども達やご家族の皆様の笑顔がたくさん見られ、職員一同幸せな気持ちとなりました。

ご家族であそびを楽しまれる姿、ご家族が子ども達のあそびを見守る姿、ご家族で展示物を囲んで対話する姿、また、さくらんぼ会の部屋では、手作りのあそびコーナーの提供や子ども達の一人ひとりのツリーアートが小さなキーホルダーになってプレゼントされるなど、園内があそび心に溢れていました。

主体性を育む環境による保育の実践を目指す中で、色いろとあそび環境の工夫をしたとしても、そこに人（好奇心旺盛な子ども達やあそび心溢れる大人の存在）が関わらなければただの物でしかないのです。『アートな生活とあそび展』が終わり、先程まで賑やかだった園内や園庭を見ながら、環境として成り立つには人の存在が重要だと改めて感じました。

あそび心のある人は、ただ遊び回っているのではなく、独自の世界観やチャレンジ精神も旺盛です。また柔軟に新しいことを受け入れることができます。まさに子ども達はあそび心溢れる達人ですね。大人が思いもよらないようなあそび（みる・かく・つくる）を創り上げる力があります。私たち大人が、子ども達のあそび心を思い込みや常識という枠で潰さないようにしなければなりません。

乳児クラスでは、『つくる反対の壊す（積み木を積み上げて手でも叩いて崩すことを喜ぶ年齢）』に着目して、新聞紙を指先でつまんで引っ張るとどうなるかという、好奇心をかきたてられるような環境を工夫すると、破れた隙間から見える太陽光や鮮やか

なステンドグラス風のセロファンの色に不思議さを発見し、保護者の皆様とそのことを共感し合う乳児の姿がありました。

粘土コーナーでは、土粘土で形をつくるあそびも見られましたが、粘土の大きな塊を足で踏んだり、水でベトベトにしてその感触を楽しんだり、お宝探して粘土の塊を壊したり、ほじくるあそびを無邪気に楽しむ小学生もいました。やはりここでもつくと壊す関係性のあそび方が面白かったです。

実験コーナー（科学あそび・光あそび音あそび・紙飛行機あそびなど）では、試したり工夫したりしながら、不思議の世界を子ども達とご家族一緒に挑戦して下さっており、幼い頃を思い出された方も多かったのではないのでしょうか。

あそび心溢れる子どもの気持ちになるには、一緒にあそびを体験して下さることも大切なことですが、幼児クラスの個人展示コーナーでは、鑑賞するというのも大切にしたいと考えました。

一人ひとりの子ども達の思いやその経過、職員との対話の様子をコメントからも感じていただけたのではないかと思います。反対に「何だろう？」と想像しながら鑑賞するのも面白かったことでしょう。

またいろいろな素材（自然物・広告紙・ダンボール・廃材など）や用具（筆・絵の具・パス・糊・ボンドなど）が、子ども達のあそび心を誘発するのだということも感じていただけたかと思えます。

みる・かく・つくるが目的ではなく、あそぶことが目的であり、あそびには多くの学びやこれからの人生を豊かにする物や人との出会いが必要です。

自己肯定感を土台に、主体性向上や状況判断ができる力の育成においてもあそび心溢れる大人の関わり方や環境に注目しながら、今月は言葉での伝え合いや相手の思いに気づき合うなどにも着目し、あそびの展開を子ども達と一緒に楽しみたいと思います。

（園長）

## アートな生活とあそび展

アンケートより（抜粋）

アートな生活とあそび展について

- 初めての参加でした。物づくりをするコーナーがホールにも園庭にもたくさんあり、題名の通り『アートな生活とあそび』とは何ぞやを見せてもらった気がします。子どもたちの目がキラキラしていました。
- それぞれの作品にパッチリと個性が輝いて、面白いなあと思いました。作った時のエピソードが添えられていて、想像しながら見るのも楽しかったです。
- 虹のクレヨンには娘だけではなく、私も一緒にやってみて面白さが共有できました。園庭のステージではお友だちと一緒にアイドルになりきる姿を見て、普段の園での様子を知ることができました。
- 子どもの好きがよくわかる時間になりました。親としてはあれもこれも経験してほしいと思うのですが、子ども達は自分で決めて楽しんでいるからこそ思ってもいなかったあそびに、繋がったり広がったりするのだなと感じました。楽しそうに没頭見ることができ、とても良い時間となりました。
- ごっこ遊びのコーナーで「自分が作ったメニュー表」と教えてくれる姿に、こんなこともできるようになったんだと成長を感じました。粘土の部屋で硬さの違いに気付いたり、粘土の中から“宝物”を探し出し楽しむことができました。
- 一日居られるようなくらいのテーマパークのようでした。充実しすぎて回り切れなかったのも、また来週も来たいくらいです。個々の作品以外にも日々の保育で作ったものも置いてあり、楽しいブースばかりでした。（制作、ドレアップ、どろんこなど）

さくらんぼ会のコーナーについて

- 子どもたちの作品がキーホルダーになっており、グッドアイデアでした。思い出のものになりました。
- 家族一緒に盛り上がり共感できる空間になっていました。
- お菓子のプレゼントもアレルギーの子どもさんには、別途のものが準備されていて良かったのですが、間違っただけで渡すようになった場面があったのが気になりましたがセーフでした。

役員さんからのご意見、ご感想

- お菓子種類（アレルギー用）もあったので、もう少しオペレーションを検討すべきでした。
- 役員として参加しました。皆さん子どものことを思いながら意見を交わし、それぞれの役割を遂げていました。親でなく子ども目線になって考えている保護者さんとの出会えて良かったです。
- 二部制の開催時間の決定をもう少し早く知りたかったです。一部と二部の参加数に、かなりの差があったので、均等がいいですね。午前中に終わる方がいいかなあ。

